

令和7年7月16日

郡市区等医師会 御中

大阪府医師会長
加納 康至
(公印省略)

BS-TBS「報道1930」に対する抗議について

平素は本会事業に格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本医師会より標記について周知がありました。本件は、令和7年7月14日に放送されたBS-TBS「報道1930」において、日本医師会に対して不適切な発言があったことに対し、担当プロデューサー宛てに抗議文を郵送した旨をお知らせするものです。

なお、本件は至急案件として取り扱われ、会内決裁途中に取り急ぎ通知されたため、日本医師会からの文書には発番がございません。また、すでに日本医師会から本件について郡市区等医師会長宛てにFAX送信されておりますことを申し添えます。

貴会におかれましても、本件をご了知の上、貴会会員へご周知くださいますようお願い申し上げます。

<問い合わせ先> 大阪府医師会広報課
〒543-8935 大阪市天王寺区上本町 2-1-22
TEL: 06-6763-7013 FAX: 06-6766-2872

令和7年7月15日

都道府県医師会長 殿

日本医師会
会長 松本吉郎
(公印省略)

BS-TBS「報道1930」に対する抗議について

平素は、日本医師会の会務運営にご協力いただき、御礼申し上げます。

昨日7月14日に放送されましたBS-TBS「報道1930」に関しまして、ゲストコメンテーター等から、日本医師会に対する不適切な発言がございました。

日本医師会では本日付で別添のとおり、抗議文をBS-TBSの担当プロデューサー宛てに郵送いたしましたので、お知らせいたします。

つきましては、貴会会員の先生方への周知に関するご協力についてご高配頂ければ幸甚に存じます。

なお、今回の事案は早急に会員の先生方にお知らせすべき事項と考え、貴会管下郡市区等医師会長様にもお送りしておりますことご了承願います。

問い合わせ先：日本医師会広報課

TEL：03-3942-6483（直）

E-M：kouhou@po.med.or.jp

令和7年7月15日

B S-T B S 「報道 1930」担当プロデューサー 様

日本医師会
会長 松本吉郎

貴社放送番組について

令和7年7月14日に貴社で放映された「報道 1930」に関しましては、「地域医療の砦 国立大学病院が潰れる？」をテーマとされ、国立大学病院の経営の厳しさを伝える番組でしたが、不適切と思われる箇所がありました。

日本医師会は、全国医学部長病院長会議等とともに1月7日に厚生労働大臣等への要望、3月12日に全国自治体病院協議会等の6病院団体と合同声明を行うなど、大学病院や病院団体と歩調を合わせて、医療における経営の窮状を訴えております。医療界において医師会と国立病院、大学病院との間に恣意的な分断を招くような報道は極めて遺憾であります。ましてや、参議院選挙公示期間中であり、到底看過できるものではありません。

以下にて、番組の問題点の一部を指摘させて頂きましたが、視聴者に対して日本医師会への誤った印象を与える内容となっていたことは誠に遺憾です。ぜひ、今後の番組制作におかれましては、今回指摘した点につきましても十分ご配慮の上、制作に当たって頂きますよう、強く要望いたします。

(1) ゲストコメンテーターの発言

ゲストコメンテーターとして、当日は野村総合研究所顧問の増田寛也氏がご出演されておりました。増田氏は財務省財政制度等審議会財政制度分科会の分科会長代理でもあられますが、本会に対して、「日本医師会は開業医の意向を重視して活動している」「日本医師会が政治力があるので診療所の数を減らすことができない」「日本医師会の強い抵抗があって、医療経営情報の見える化ができていない」「診療所の数は6万でよく、残りの4万の人が病院で働けば医療の質が上がる」など、一方的で根拠もない誤解に満ちたご発言を重ねておられました。

また、診療所の診療報酬についてメスを入れるべきであるが、日本医師会の抵抗でできず、あたかも日本医師会が診療所の報酬に固執するあまり大学病院の経営が圧迫されてしまうと捉えられかねない発言もございました。

日本医師会は日本の医療全体を考えて活動を続けており、会員数は開業医よりもむしろ勤務医が多く、開業医の意向に偏った活動してはおりません。また、診療所はその地域に必要とされているからこそ存在しているわけで、日本医師会が政治力があるからといって数が減らないということはございません。

そもそも、医療における窮状は従来からの医療費削減策に加えて、昨今の急激な物価高騰と人件費の上昇に起因するものです。現在は病院の7割、診療所の3割が赤字であり、更にその割合は上昇しており、医療機関は著しく逼迫した経営状況です。

<別添>

(2) 司会の進行について

本来、司会者は中立的であるべきですが、司会の松原耕二氏は増田氏の日本医師会に対する偏向発言を誘導するような発言が見られました。